



10 2012 OCTOBER

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成24年10月 No.561

毎月1回1日発行

- ② 浪江町議会定例会行政報告
- ⑥ 役場業務案内
- ⑧ 夏休み子ども親子交流会
- ⑩ なみえの“しゃべり場”
- ⑫ お知らせ
- ⑭ 情報びっくあっぷ
- ⑯ 学校だより
- ⑰ まちの話題
- ⑳ 浪江のころ通信
- ㉓ 連絡先一覧・空間放射線量測定結果

今月の表紙

青空の下、絆つなくパークゴルフ大会 —9月16日 二本松市日山パークゴルフ場—



町長から行政報告をします

※一部抜粋

双葉8町村、福島県と国との意見交換会等



●6月17日
平野復興大臣来訪
除染の方針や「20mSv/年」と健康への影響、賠償の方針などについて意見交換を行いました。

●6月22日
双葉地方町村および県と国との事務レベル協議会
国から「除染」「賠償」「健康管理」の3点について取組み状況の報告があり、除染では「追加被ばく線量1mSv/年」を長期的目標とすることについて、賠償では生活再建を踏まえた賠償制度の構築について、健康管理では恒久的な医療保障について協議がなされました。

さらに、避難指示解除準備区域等の公共インフラ復旧に向けた工程、生活環境の整備に向けた対象事業の事前調査、福島復興再生特措法に基づく避難地域等区域復興再生計画の進め方、ランドデザインについての国

における考え方が示されました。

●6月27日
双葉地方町村および県と国との事務レベル協議会
原子力損害賠償に関して双葉郡としての考えを国に伝えた上で議論を行いました。

●7月4日
双葉地方町村と県と国との実務者協議会（第2回）
国側から新たな賠償方針として、家屋の賠償について建築着工統計に基づく工事標準単価による賠償が提示されました。

●7月13日
国と避難地域12市町村と県との事務レベル協議
国側から新たな賠償方針として、産業振興・雇用促進プラン、農林水産業再生プランの素案が示され、関係12市町村と議論を行いました。

●7月17日
双葉地方町村長会議
席上副町村長の事務レベルで協議してきた賠償に関しての協議状況について報告され、復興庁・資源エネルギー庁の賠償担当からも国の賠償についての考えを聞いた上で、町村会として考えを整理しました。

●7月19日
双葉地方町村会として、平野復興大臣などに賠償に関しての

要求を行いました。

●7月20日
このように要求・協議している中、経済産業省は「避難指示区域の見直しに伴う賠償基準の考え方」を取りまとめ公表し、それを踏まえ7月24日には、東京電力がプレスリリースにて「避難指示区域の見直しに伴う賠償の実施について」を公表しました。内容は、不動産の賠償、精神的損害の一括払い、営業損害・就労不能損害の一括払い、家財賠償の定額払いの考え方等で、それを受け東京電力が具体的な賠償基準を示したものです。

●8月3日
新聞で報道された「山林除染不要」に関し、双葉地方町村会から平野復興大臣・細野環境大臣宛に「森林の除染は国の責任において実施していくと説明を受けている中、記事の内容は遺憾。双葉地方各町村の森林除染は、飲料水や農業用水の問題のみならず、生活圏の被ばく線量の問題の観点からも必要である。」とした内容の抗議文を出しました。

●柳澤経済産業副大臣（原子力災害現地対策本部長）来訪
警戒区域見直しに関して、町長・両副町長・議長との意見交換を実施しました。

●8月19日
第2回双葉地方町村、福島県と国との協議会
国から避難地域等区域復興再生計画の進め方、住民意向調査の進め方、町外コミュニティの進め方などについて説明があり、さらに、中間貯蔵施設の設置に関する事前調査について提案がありました。

●細野環境大臣来訪
河川の除染、除染に関する地元雇用、福島第一原発の収束などについて、町長・両副町長・議長との意見交換を行いました。

●8月28日
第3回いわき市長と双葉郡8町村長との意見交換会
避難者の帰還に向けた取組みや町外コミュニティなどについて意見交換を行いました。いわき市長からは、「双葉郡からの避難者をしっかり支援する。町外コミュニティについては、市内に複数箇所、分散型として県営の災害公営住宅として受入れたい。」との話がありました。

●8月30日
「双葉8町村長と知事との協議の場」幹事会
避難者の新たな生活拠点に関する今後の協議の進め方、中間貯蔵施設の在り方に関する当面の進め方についての協議を行い

ました。

●9月4日

●双葉地方町村と県と国との実務者協議会（第3回）

7月に公表された「避難指示区域の見直しに伴う賠償基準」に関する双葉地方町村会としての疑問点の確認を行いました。

町としては、今後とも、帰町を判断するために必要な除染目標値である1mSv/年まで除染、町民の生活再建が確実にできる賠償・保障、被ばくの不安を解消するための恒久的な医療保障の確保について、継続して国に強く求めてまいります。

平成23年度決算



平成23年度は、東日本大震災と原発事故による全町避難により、通常とは異なる特殊な状況の中、町民の皆さまの避難生活支援を中心に業務に取り組みました。

一般会計の決算額は、歳入決算額124億6,316万1千円、歳出決算額118億7,9

03万3千円となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、4億1,695万6千円の黒字となりました。

歳入は、通常の課税が困難で課税減免措置を行ったことから町税全体で前年比78・8%の減収となりましたが、その補填分を含んだ震災復興特別交付税19億39万1千円の交付や災害救助費4億1,581万6千円、災害弔慰金4億9,125万円の交付等により総額で29億7,493万5千円の増加となりました。

歳出は、避難所の運営経費を中心とした災害救助費23億2,206万8千円の増加、23年度に新設された浪江町復旧・復興基金への積立金として40億9,236万1千円の増加等が要因となり、総額で30億4,515万3千円の増加となりました。

財政健全化判断比率である「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4指標は、いずれも早期健全化基準以下となりましたが、特に実質公債費比率については、今後とも地方債発行の許可基準である18・0%以下を堅持していくため、引き続き地方債の適正な借り入れに留意す

る必要があると考えています。

また、9の特別会計の歳入決算総額は68億3,921万9千円、歳出決算総額は60億2,555万1千円となり、すべての特別会計で黒字決算となりました。

昨年引き続き現在の当町の財政状況は、町税をはじめ自主財源の確保ができず、国県からの財政支援に頼らざるを得ない状況となっています。

未だ避難生活が強いられる状況ですが、今後1日でも早く町民の皆さまが安心した生活を送れるよう、浪江町の復旧・復興にむけた施策に取り組んでまいります。

農業委員会委員選挙および海区漁業調整委員会委員選挙

東日本大震災の影響により投票が延期されてきました、任期満了に伴う浪江町農業委員会委員一般選挙が6月28日告示、7月8日投票で執行されました。また、福島海区漁業調整委員会委員一般選挙が7月24日告示、8月2日投票で執行され、いずれも無投票により当選人が決定しました。

●9月11日日本体工事完成、9月28日30日にかけて事務所引越、10月1日新庁舎での業務開始のスケジュールを進めています。

庁舎の移設については、広報紙等で周知するほか、案内標識を4号国道他18カ所に設置し、町民が混乱しないよう留意したいと考えています。

仮設庁舎の整備

仮設庁舎の整備に関する内容が記載されています。

町民交流事業

県外交流会は、6月30日東京都椿山荘において「ふるさと浪江会」との共催で開催し、約300名の参加をいただきました。そのほか山形県・秋田県・青森県・新潟県で交流会を開催しています。県内では、いわき市・南会津町・福島市・白河市・二本松市で交流会が開催され、多くの方が参加されました。

7月27日に請戸小・浪江東中、7月30日に浪江小、8月17日に浪江中、8月20日に荻野小・大堀小、8月24日に幾世橋小・津島小・津島中の児童生徒・保護者を対象として、夏休み子ども親子交流事業を開催しました。全国各地で避難生活を送って



応急仮設住宅

8月21日現在、建設戸数2、847戸に対して、入居戸数が2、216戸となっており、入居率は77・8%となっています。県内の特例借上げ住宅の状況は、会津地方が182戸468人、中通りが2、316戸5、574人、浜通りが1、430戸2、903人で合計3、928戸8、945人となっています。

今後の仮設住宅の計画は、南相馬市原町区大木戸地区に70戸の仮設住宅の建設を予定しています。

インフラ復旧



町道および橋梁について、道路3路線、橋梁4橋の調査設計業務を7月下旬に着手しました。上水道は、送水管2・3km、配水管3・8kmの漏水調査を実施し、送水管1カ所、配水管1カ所、分水栓および止水栓7カ所の漏水修繕工事を完了しました。現在、住宅密集地の防火対策等のため、権現堂字鬼久保・

町道および橋梁について、道路3路線、橋梁4橋の調査設計業務を7月下旬に着手しました。上水道は、送水管2・3km、配水管3・8kmの漏水調査を実施し、送水管1カ所、配水管1カ所、分水栓および止水栓7カ所の漏水修繕工事を完了しました。現在、住宅密集地の防火対策等のため、権現堂字鬼久保・

順礼川原・佐屋前を結ぶ配水管の漏水調査を実施中で、今後は、権現堂字小関・新町・上柳町・蛭子町を結ぶ配水管の調査を予定しています。

下水道は、日本下水道事業団による浪江浄化センターの災害復旧事前調査が実施されました。今後は、災害復旧業務の委託契約を結び、詳細調査・災害査定・復興計画に合わせた復旧工事を実施します。

警戒区域への一時立ち入り

マイカーによる4回目の一時立ち入りを、5月19日から7月14日まで計20回実施し、3、494世帯、8、761名の立ち入りがありました。

バスによる一時立ち入りは、6月14日から6月17日まで計3回実施し、157世帯、226名の立ち入りがありました。なお、8月25日から第5回目の一時立ち入りを行っています。

町民の健康管理

震災後、放射線量の高い地域へ避難したことによる放射線被

ばくへの不安や、避難生活の長期化に伴う体調の悪化など、町民の皆さまの健康管理が心配されるところです。



町民の皆さまには、日ごろから摂生に努め適度の運動を行うなど、体調管理に十分留意されるようお願いしているところであり、このたび、日ごろの体調管理に役立てていただくよう「放射線健康管理手帳」をお配りしました。

健康手帳は、内部被ばく検査による内部被ばく量や、積算線量計による外部被ばく量を記録する欄を設けてありますので、健康診断やがん検診、通院の履歴などと一緒に記載し、健康管理に役立てていただきたいと思います。

さらには、震災後の避難状況や一時立ち入り等の行動記録等

についても記載する欄がありますので、ご自身の避難履歴として記載していただきたいと思います。

いずれにしても、各種健診や検査について、毎年継続的に受診されて、その結果について健康手帳に記載し記録を管理することにより、ご自身の健康管理に十分留意していただくようお願いいたします。

町の総合健診を9月18日から17日間、県内各会場で実施しますので、受診されるようお願いいたします。

また、内部被ばく検査や甲状腺検査についても、随時受け付けていますので、まだ検査されていない方や、昨年に続き2回目を希望される方はお申込みをお願いいたします。

なお、内部被ばく検査は、仮設の津島診療所やひらた中央病院等で実施し、8月末現在約8、300名、検査率約40%です。また、甲状腺検査も仮設の津島診療所で実施し、8月の1カ月間で約200名の児童・生徒が検査を受けています。

国による健診体制の確立や恒久的な医療費無料化に向けた法制化についても国への要望を続け、一刻も早い対応を求めたいと思います。

町民の賠償支援

損害賠償支援事業として福島県弁護士会の県内説明会および相談会を県内7カ所の会場で15回実施しました。参加予定者685名に対し、参加者は160名で、支援事業申請者は現在のところ20名という状況です。

災害給付金等の状況

被災者生活再建支援金

地震により全壊または大規模半壊した住宅については、8月末現在、55世帯の申請を受けています。これについては、現在、損壊した住宅の多くが警戒区域内にあり、詳細な調査ができないため、写真または本人の申告等により、月1回程度現地を確認し、対象になる世帯に連絡し請求をいただいています。

災害弔慰金

災害弔慰金等の支給は、3月11日の津波および地震により直接死亡された方が184名と、うち支給対象者が171名となっています。

8月末現在、申出受理件数が

167件、うち支払件数は166件です。今後も申出書等関係書類の提出をいただき、審査のうえ速やかに振り込みます。

また、災害関連死に関する弔慰金は、現在、双葉地方災害弔慰金審査委員会において、関連死の可否について審査をお願いしているところで、8月末現在、申出受理件数が218件、うち審査件数が187件、うち認定件数が184件、支払件数が174件です。

義援金

7月25日、国および県から第2次義援金の追加配分がありました。国分が1万2、200円、県分が4、300円で、町分3、500円を合わせて、1人当たり2万円の配分となります。

なお、配分については、8月31日から順次振り込みました。

子ども医療費助成事業



現在、浪江町では0歳から15歳までの医療費一部負担分を助成していますが、10月1日から

施行となる「福島県子どもの医療費助成事業補助金交付要綱」の制定により、10歳から18歳までは、県から全額補助されることになりました。

現在、受給者証交付に向け対象者に申請書を提出いただいているところで、9月中旬に受給者証の発行を予定しています。なお、現時点で想定される受給者総数は、2、018名です。

教育行政



7月6日、渋谷区文化総合センターで、浪江町と二本松市の子どもたちへの支援を目的とする、東日本大震災復興支援チャリティイベント「コンサートII」が開催されました。

今回は主催者側のご配慮により、浪江町民が70名無料招待され、実行委員会事務局でピアノストでもある徳江陽子様から義援金を受領しました。義援金は、浪江小と浪江中に配分し、学校教育資金として有効に活用させていただきます。原発事故で避難を余儀なくさ



8月3日、福島市笹谷地内に建設された仮設図書館「浪江in福島ライブラリー きぼう」で、図書館の鍵の贈呈式と開所式が行われました。

この図書館は、株式会社アン・トレックス（艦居隆三社長）が

この企画には、浪江町の中学生34名と引率教員4名が参加しました。滞在期間中はチェコ政府はじめ、行く先々で大歓迎を受け、8月13日、全員元気に帰国しました。

8月3日、福島市笹谷地内に建設された仮設図書館「浪江in福島ライブラリー きぼう」で、図書館の鍵の贈呈式と開所式が行われました。

この図書館は、株式会社アン・トレックス（艦居隆三社長）が

第6回市町村対抗福島県軟式野球大会が、9月8日から県営あづま球場で開催されました。浪江町チームは、8月11日からほぼ毎週、本宮市白沢野球場で練習に励んできました。昨年は避難生活の中でありながら、準優勝のすばらしい成績を収めることができ、今年も「優勝」を目指し、選手をはじめ

浪江町復興計画の策定状況



スタッフが丸となり、取り組んでいるところです。各スポーツ大会の参加を通して絆を深め、選手の活躍により、町民の皆さまが元気で勇気を取り戻していただきたいと思います。

4月19日に策定した浪江町復興ビジョンを基に、6月から町民の方々を主体とした浪江町復興計画策定委員会において議論を重ねてきました浪江町復興計画は、中間報告（案）がまとまりましたので、全戸配布を行い意見募集（パブリックコメント）を行いました。現在、寄せられた意見を計画書に反映させる作業を行っております。

今後のスケジュールでは、9月下旬には浪江町復興計画策定委員会からの提言をいただける予定であり、その後、議会の議決を受けての策定を目指しています。

1階

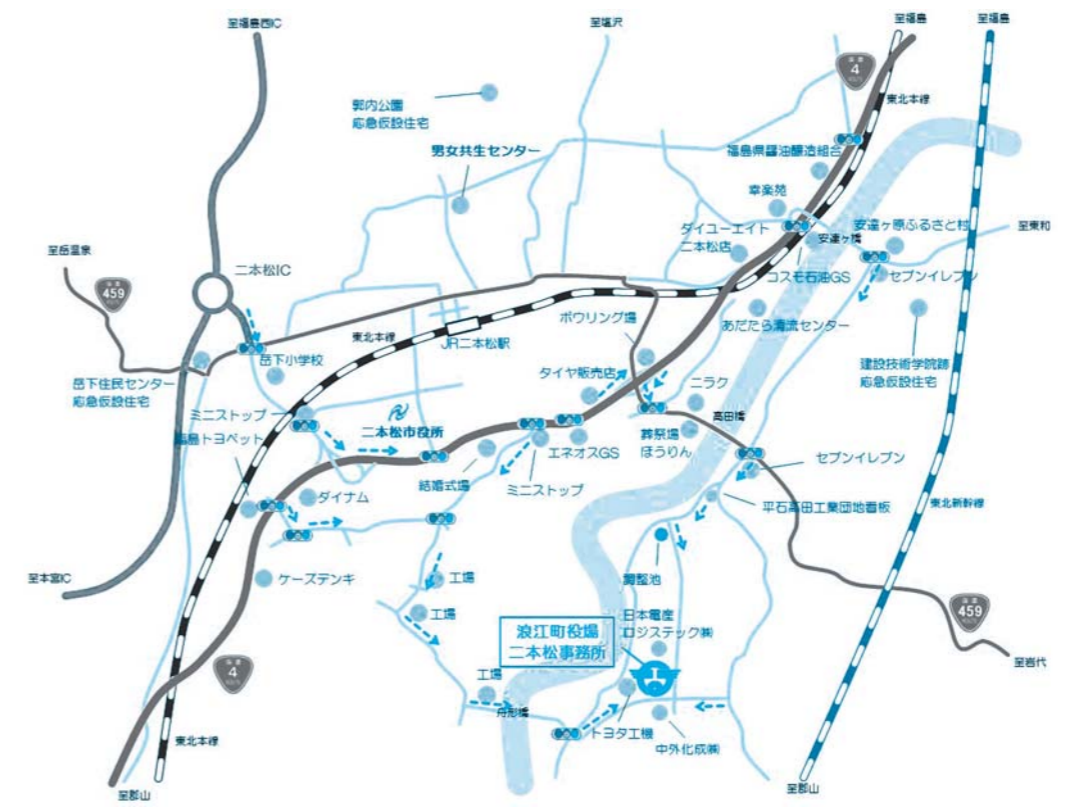
総務課	秘書係	TEL0243-62-0123	町長秘書、式典・儀礼、表彰、陳情・要望、電話交換業務
	行政係 (選挙管理委員会)	TEL0243-62-0128	条例、議案、職員人事、職員給与・服務、選挙、行政区長、地縁団体、情報公開、文書管理、原発避難者特例法
	財政管財係	TEL0243-62-0132	財政計画、予算編成、入札、契約、町営住宅、財産管理、車両管理、仮庁舎建設、自治体損害賠償
福祉こども課	福祉係	TEL0243-62-4737	障がい福祉、社会福祉協議会、民生委員、生活保護、戦没者遺族等援護、震災義援金・弔慰金および見舞金、震災遺族対応
	子育て支援係	TEL0243-62-0170	子育て支援、子育て相談、保育園・保育所、児童虐待、女性保護、児童扶養手当、児童手当、子ども医療費、出産祝い金
健康保険課	国保年金係	TEL0243-62-0179	国民健康保険、高額療養費貸付、後期高齢者医療、老人医療、国民年金、福祉年金
	健康係	TEL0243-62-0168	健康づくり、健康相談、健康診査、予防接種、母子保健、精神保健
	介護保険係	TEL0243-62-0172	介護保険、要介護認定、高齢者福祉、地域包括支援センター、高齢者対策、敬老祝い金
町民税務課	放射線健康管理係	TEL0243-62-0173	内部被ばく検査(WBC)、甲状腺検査、健康管理手帳
	納税係	TEL0243-62-4735	町税の収納・督促・滞納整理、税等の証明(納税・所得・資産等)
	課税係	TEL0243-62-4735	町税賦課、固定資産評価、国土調査
出納室	住民係	TEL0243-62-0129	戸籍、住民票、印鑑登録、外国人登録、埋火葬、人権擁護、諸証明
	出納係	TEL0243-62-0127	公金等の収納・支払、現金の出納・保管、小切手振出し

2階

復旧事業課	建設管理係	TEL0243-62-4732	町道管理、防犯灯、漁港修築、河川・堤防、海岸保全、土木設計、土木災害、高速自動車道整備促進
	上下水道係	TEL0243-62-4732	企業会計・特別会計賠償請求、合併処理浄化槽、下水道整備計画、農業集落排水事業、災害復旧に係る上下水道復旧計画
復興推進課	復興企画係	TEL0243-62-4731	政策調整、行政評価、行政改革、町基本構想、長期総合計画、地方分権・権限移譲、復興計画策定
	まちづくり整備係	TEL0243-62-4731	企業誘致、地域づくり、町民協働のまちづくり、コミュニティ助成事業、復興住宅計画策定、津波被災地対策
	情報統計係	TEL0243-62-4731	庁内ネットワーク機器管理、統計調査、広報広聴、ホームページ
産業・賠償対策課 (農業委員会)	農林水産係	TEL0243-62-0167	林業、治山、土地改良、農林災害、農林道整備、水産業、漁業団体指導
	商工観光係	TEL0243-62-0167	商工業振興、雇用対策、消費者行政、観光
	賠償支援係	TEL0243-62-0167	被災者賠償支援、国・東電賠償対策
災害対策課	消防防災係	TEL0243-62-0151	消防、災害、防犯、交通安全、危機管理、災害対策本部、原発事故対策、避難区域見直し、一時立入業務
	放射線対策係	TEL0243-62-0152	除染計画、環境放射線測定、線量計貸出、食品等の放射能分析測定
	生活環境係	TEL0243-62-0151	墓地管理、狂犬病、防護服の貸出、廃棄物処理、ガレキ処理
生活支援課	住宅支援係	TEL0243-62-4736	仮設住宅管理運営、借上げ住宅管理運営
	避難生活支援係	TEL0243-62-0305	避難者生活支援、出張所管理運営、仮設等自治会運営、仮設住宅循環バス、絆づくり事業、支援物資管理
教育委員会事務局	学校教育係	TEL0243-62-0301	教育委員会庶務、教育予算、学校施設、学校安全、学校部分林、文化財、町史、学校組織編成、教育課程、教科書、幼稚園、奨学資金
	生涯学習係	TEL0243-62-0304	生涯学習、社会教育、視聴覚教育、芸術・文化振興、青少年健全育成、国際交流協会、男女共同参画、社会体育、文化・スポーツ振興基金
議会事務局	事務局 (監査委員)	TEL0243-62-0196	議会定例会・臨時会・委員会の庶務、監査委員庶務、定期監査、決算審査

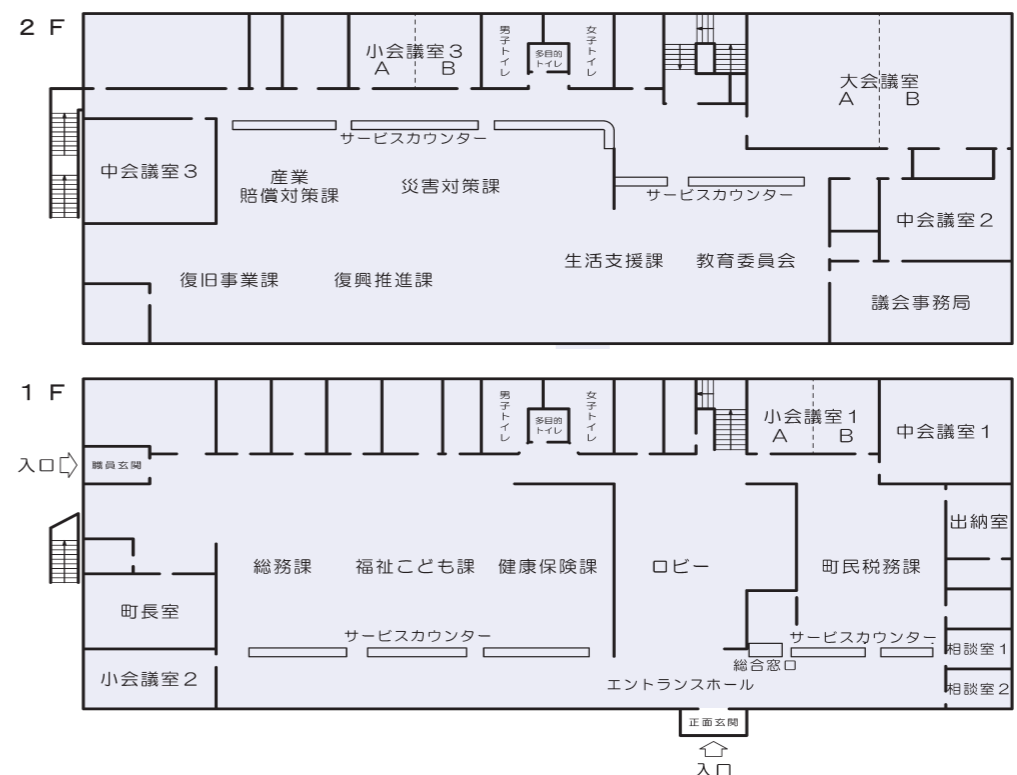
仮設津島診療所 TEL0243-24-1431 診療、健康診断・相談、医療事務、診療報酬請求、内部被ばく検査(WBC)

出張所	福島出張所	TEL024-535-0750	証明書発行事務、仮設住宅の連絡調整、仮設住宅自治会、線量計貸出、本庁との連絡調整
	桑折出張所	TEL024-582-2130	
	本宮出張所	TEL0243-44-1185	
	いわき出張所	TEL0246-24-0020	
	南相馬出張所	TEL0244-23-1112	
	二本松連絡所	TEL0243-62-0302	



新事務所所在地
 〒964-0984 二本松市北トロミ573番地
 TEL0243-62-0123 FAX0243-22-4261
 問 総務課行政係 TEL0243-62-0128

浪江町役場仮設庁舎館内図



浪江町役場 二本松事務所 業務案内

役場二本松事務所として借用している福島県男女共生センターの施設借用期間満了に伴い、二本松市平石高田第二工業団地内の仮設庁舎に移転し、10月1日から業務をスタートしました。

なみえの“しゃべり場”



夏休み子ども親子交流事業

7月から開催していた夏休み子ども親子交流事業は、総勢465名に参加をいただきました。子どもたちは、久しぶりの友だちとの再会に、たくさんの笑顔の花を咲かせ、それぞれの思いを胸に夏休みを終えました。

生活支援課避難生活支援係
0243-62-0305



大堀小学校

●櫻庭 美海さん
(当時：小3 現在：小5)

今日は久しぶりにみんなじゃないけど友だちやクラスの人のあえてうれしかったです。はなれるのはさびしいけどまた会える日を楽しみにまわりたいです。

●小野田恵佳さん
(当時：小5 現在：中1)

久しぶりにみんなと会えてとてもうれしかったです。震災以来会っていなかった人もいたので、会えてとてもうれしかったです。震災で離ればなれでとてもさみしかったです。



浪江中学校

8月17日(金)

会場：郡山自然の家 参加人数：22名

浪江中学校

●吉田 香奈さん
(当時：中3 現在：高2)

久しぶりに福島戻ってきて、誰も友だちはいなかったけど、先生に会えてよかった。あまり休みがなくて時間とれないけど、高校卒業してからもこういう時間をとってくれれば人が集まれる時間はもっとあると思う。学年ごとで集まれる時間も欲しい。

今日は、短い時間だったけど楽しかった。

●前田 賢人さん
(当時：中3 現在：高2)

今日はとても楽しかった。先生たちに会うことができたのはとてもうれしかった。また機会があるなら参加したい。



柴口 龍真さん

(当時：小2 現在：小4)

久しぶりにみんなにあえてうれしいです。こういう日ずっと続いてほしいです。できればつぎもこういう日がきてほしいです。

山田ひよりさん

(当時：小3 現在：小5)

久しぶりに仲よじだった友だちに会えてうれしかったです。

荻野小学校



荻野小学校・大堀小学校

8月20日(月)

会場：会津自然の家 参加人数：208名



●真田 諒さん
(当時：小4 現在：小6)

久しぶりに会った人を見て、みんな成長したと思いました。また一緒に遊びたいです。昔が恋しいです。

津島小学校

●今野 世美さん
(当時：小2 現在：小4)

今日はたった9人しかきませんでした。とてもたのしい、おもいでになりました。アドベンチャーはぼうけんみたいなかんじがしました。フーリンの絵や、もようを書くのがたいへんでした。

幾世橋小学校

●小峰 大和さん
(当時：小1 現在：小3)

やまのぼりはきつかったです。ふうりんは楽しかったです。おもしろかったです。

津島中学校

●今野満里実さん
(当時：中3 現在：高2)

今日はアスレチックの途中体調不良で迷惑おかけしました。山からの景色もキレイで楽しかったです。風鈴の絵づけも初めての体験で楽しかったです。貴重な思い出ありがとうございます。



幾世橋小学校・津島小学校・津島中学校

8月24日(金)

会場：郡山自然の家 参加人数：15名



高崎市域震災復興支援委員会共催

当日の内容は、町長または副町長との懇談や、高崎経済大学のみなさんとのしゃべり場を予定しておりますが、詳細は現地実行委員のみなさんと決定します。

皆さんの想いを聞かせてください

子ども向けのワークセット、ゲームも準備してお待ちしています。
なみえっ子のみなさん、遊びに来てください。



開催スケジュール

開催日時	開催地	会場
10月28日(日) 13時30分～16時	栃木県	コンサーレ 小ホール (栃木県宇都宮市駒生 1丁目1-6 東北自動車道 鹿沼ICから9.5km 宇都宮ICから9.0km TEL 028-624-1417)
11月10日(土)	静岡県	富士市フィナンセ 2階 ふくし学習室 (富士市本市場 432-1) TEL 0545-64-9023
12月1日(土)	千葉県	会場未定 (直近の広報なみえにてお知らせします)

※平成25年2月以降には、茨城県、埼玉県での開催を予定しています。

■“しゃべり場”への参加申込み

事前に参加申し込みをいただくと、当日の受付がスムーズになります。

〈参加申し込み専用ダイヤル〉
TEL 080-5737-2031



なみえの“しゃべり場” 現地実行委員募集中

なみえの“しゃべり場”を、一緒に企画・運営しませんか。ご協力いただける方は、ご連絡ください。なお、現地実行委員は浪江町民の方に限らせていただきます。

現地実行委員会の概要

- なみえの“しゃべり場”開催地ごとに設置
 - 開催前に3回程度の打ち合わせと、開催当日にスタッフとして参加いただきます
 - 参加いただいた1日あたり5,000円の謝礼を支給します。(交通費込み)
- ※詳細は、お問い合わせください。

主催 浪江町 共催 高崎市域震災復興支援委員会 協力 高崎経済大学櫻井研究室
TEL 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243-62-0305

秋空の下、サツマイモ掘りしませんか

このたび、千葉県のNPO法人 千葉chiraku様から「千葉サツマイモ収穫祭2012」への誘いがありました。秋空の下、畑でのびのびしませんか。ご参加をお待ちしています。

▽日時 10月27日(土) 11時～15時(雨天中止)

▽場所 千葉県千葉市 JR幕張駅周辺の農場

▽定員 40名(先着順)

▽参加費 500円/大人1名(バーベキュー代、保険加入代含む。こどもは無料)

▽持ち物 帽子、飲み物、タオル

▽交通 申し込みいただいた方には、地図および詳細を別途、お知らせします。

▽申し込み方法 電話またはEメールでお申し込み下さい。

▽申込締め切り 10月22日(月)

▽申込先 生活支援課千葉県駐在(浪江町復興支援員)

TEL 080-6294-5961 (電話受付時間 月水金9時～18時 担当：大内)

E-mail: sien_chiba@yahoo.co.jp

件名に「サツマイモ収穫祭2012」と記載し、①参加希望者全員の氏名②代表者電話番号を明記の上お申し込みください。確認次第お電話申し上げます。

同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、理解し合う場、励まし合う場、笑いあう場、さまざまな場として“しゃべり場”を開催しています。「これから一緒に何かしましょうよ!」「今こんなことに困ってない?」など、皆さんの“今”を共有しましょう。

昼食の注文のため、事前申し込みが必要となる場合がありますのでご注意ください。

皆様のご参加をお待ちしています。

今月の“しゃべり場”

開催日時	開催地	会場	内容
10月13日(土) 11時～14時	東北エリア (秋田県)	ホテルアイリス 会議室 (秋田県由利本荘市 肴町5番地)	交流会(昼食を食べながら) 注)参加される方は、10月11日(木)までに、 TEL 080-2800-1634 へお申込みください。
10月14日(日) 11時～14時	東北エリア (青森県)	八戸プラザホテル 会議室 (青森県八戸市柏崎一丁目6-6)	交流会(昼食を食べながら) 注)参加される方は、10月12日(金)までに、 TEL 080-2800-1634 へお申込みください。
10月18日(木) 13時30分～15時30分	いわきエリア (いわき市)	内郷コミュニティセンター (いわき市内郷郷町 大木下28-1)	13:30～14:30 「“笑い”で健康になろう!」 ラフターヨガ(笑いヨガ) 講師: 整体&自然療法 ステラマリス 院長 坂内 直人先生 ※笑いヨガは、ヨガの“呼吸法”を行うだけで難しいポーズは一切ありません。特別な準備も必要なく、誰でも簡単に楽しくできます。当日は、バスタオルを持参のうえ、動きやすい服装でお越しください。 14:30～15:30 交流会(フリータイム)
11月3日(土) 11時～14時	東北エリア (山形県)	山形国際ホテル 会議室 (山形県山形市香澄町3-4-5)	交流会(昼食を食べながら) 注)参加される方は、11月1日(木)までに、 TEL 080-2800-1634 へお申込みください。

※当日の内容は、会場ごとに異なります。

※各会場とも駐車場に限りがございますので、公共交通機関の利用や乗り合せにご協力ください。

※今後も、県内外各地で開催を予定しております。県内については、県北、県中、県南、いわき、相馬、会津のエリアに分けて、開催しておりますが、各会ともどなたでも参加できます。

主催 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ・浪江町
TEL 生活支援課避難生活支援係 TEL 0243-62-0305

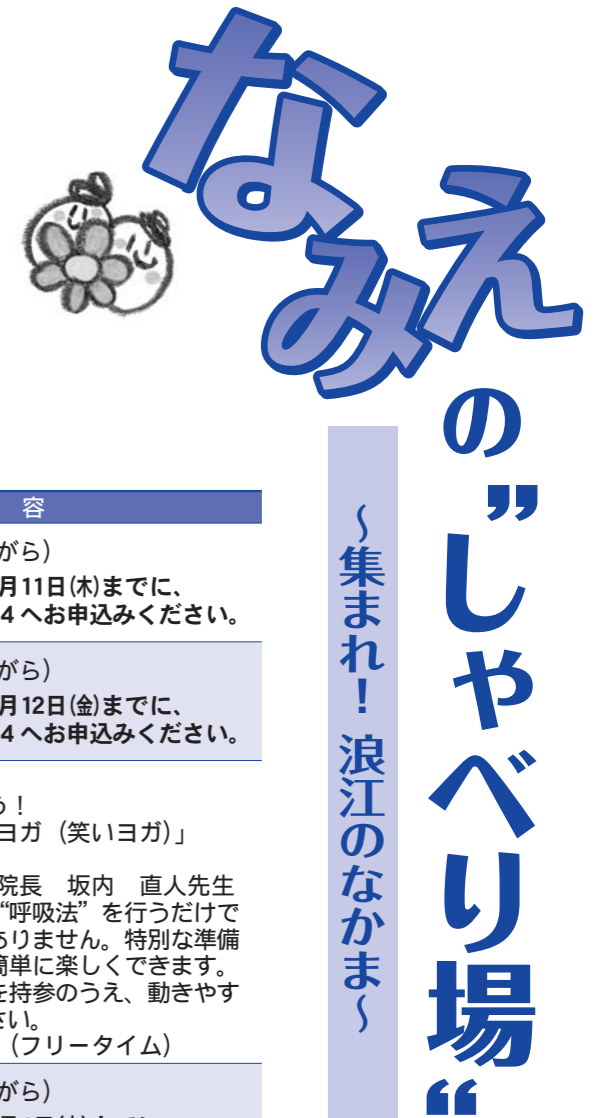
“集まっ会”

毎月二本松市内で町民同士の交流の場を開放しています。浪江町民であれば県内、県外、借上げ住宅、仮設住宅に関係なくどなたでも参加できます。皆様のご参加をお待ちしています。※事前申し込みが必要です。

■日時 10月25日(木) 11時～14時
■会場 二本松市市民交流センター 2階 創作スタジオ
(二本松市本町2丁目3番地1 JR二本松駅より徒歩5分)

TEL 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ
TEL 080-2800-1634 ※対応時間 9時～16時

- ▷内容 今月は、いも煮会を開催します。作った料理を囲みみんなで一緒に交流しましょう。
- ▷参加費 無料
- ▷申込先 まちづくりNPO新町なみえ 080-2800-1634
- ▷申し込み期限 10月19日(金)
※定員(50名)になり次第締め切ります。
*会場駐車場には、限りがありますので、車の相乗りや公共交通機関のご利用をお願いします。
- ▷実施団体 特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ
※この事業は、町より委託を受けて実施しています。



「集まれ!浪江のなかま」

野生きのこを採取される皆さまへ

野生きのこのシーズンを迎えるようとしています。福島県では、昨年度から野生きのこの放射性物質のモニタリング検査を行っています。その結果、複数の市町村で国の暫定規制値（当時）または基準値を超える放射性セシウムが検出され、浪江町を含む市町村で採取された野生きのこの採取および

出荷が規制されています。野生きのこを採取する際は、次の点にご注意ください。
● 4月1日から食品中の放射性セシウム基準値が改正され、野生きのこも100Bq/kgを超えるものは、出荷や流通を自粛してください。
● モニタリング結果は、新聞や福島県ホームページなどで公開されています。
● 自家消費用の野生きのこについては、各市町村で放射性物質の検査を行っていますの

で、最寄りの市町村へお問い合わせください。なお、出荷が制限されている市町村の野生きのこについては、自家消費も控えてください。
● 食中毒防止のため、疑わしい、知らないきのこは採らないでください。
● 最寄りの農林事務所、林業研究センターまたはきのこ振興センターで相談に応じております。
問 産業・賠償対策課
0243-62-0123

内部被ばく検査の結果(概要) (ホールボディカウンタ)

放射性物質の吸入による内部被ばく量について、ホールボディカウンタにより測定しました。平成23年度は、福島県において、子どもや妊婦を優先に内部被ばく検査を実施し、約3,700名が検査を受けました。今年度は、浪江町でも「ホールボディカウンタ」を購入し、検査を開始しました。現在、浪江町、福島県、ひらた中央病院等で検査を実施していますが、これまでの検査結果では、健康へ影響を及ぼすような数値は検出されていません。

■検査概要(浪江町)
▷検査対象者 4歳以上
▷検査方法等 ●検査機器 CANBERRA社 FASTSCAN
●検査場所 仮設津島診療所に隣接設置
●検査時間 2分間
●検出限界 セシウム137 (240ベクレル)
セシウム134 (180ベクレル)

■検査結果概要(平成23年6月27日～平成24年7月31日)
※福島県やひらた中央病院での検査結果を含む。

▷年齢別対象者、検査者数、検査率 (単位:人、%)

	4～9歳	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	計
対象者	1,066	2,119	2,178	2,299	2,392	10,722	20,776
検査者	1,090	1,608	623	836	507	2,334	6,998
検査率	102.3	75.9	28.6	36.4	21.2	21.8	33.7

▷検査結果 (単位:人)

預託実効線量	1mSv未満	1mSv	2mSv	計
	6,991	5	2	6,998

※預託実効線量とは
体内から受けると思われる内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの累積線量を表したものです。

問 健康保険課 TEL 0243-62-0123

町民協働による「復興まちづくり」支援事業

町では町民協働により町民相互の絆の形成および復興を推進する事業を実施する団体に補助金を交付します。

■補助の対象となる団体

- 1、浪江町に住所を有する方が組織する仮設住宅や借上げ住宅等の自治組織、地域づくり団体、特定非営利活動法人のいずれかであって5人以上の構成員を有すること
- 2、事業目的等を記述する会則を有すること
- 3、政治活動、宗教活動および営利を目的としない団体であること
- 4、暴力団等が経営または運営に関係していない団体であること

■補助の対象とならない経費

- 1、団体の恒常的な運営維持管理経費
- 2、団体の構成員に対する人件費、謝礼、飲食費、旅費等
- 3、ほかの団体に対する補助金、助成金等
- 4、物品販売等に係る経費
- 5、神社仏閣等宗教法人に

■対象事業

- 1、県内外に避難している浪江町民を集めて交流の場を提供する事業
- 2、浪江の伝統文化等について広く周知する事業

■補助金

原則20万円まで

■応募方法

補助金交付要望書を記入し、関係書類等を添えてご応募ください。(郵送可)

要望書は、町ホームページからダウンロードしていただくか、電話等で請求してください。

詳細はお問い合わせください。

■募集期限

10月15日(当日消印有効)

■その他

事業採択の可否については個別に通知します。

■復興推進課まちづくり整備係

TEL 0243-62-0123

個人積算線量計(ガラスバッチ)測定結果(概要)

道路や建物などに沈着した放射性物質からの放射線による外部被ばく量を測定するため、個人積算線量計による外部被ばく量を測定しました。

日常生活の過ごし方や線量計の使用法の違い等により測定値に多少の幅はありますが、推定される年間被ばく量の概算平均値は、おおむね1mSv以下でした。

- ▷測定期間 第1回目 平成23年9月10日～12月9日(3カ月間)
第2回目 平成23年12月9日～平成24年3月9日(3カ月間)

▷測定対象者および回収状況

- 18歳下および妊婦(県内在住) (単位:人、mSv、%)

対象グループ	対象者	第1回目		第2回目		延べ測定者	延べ回収率	年間積算線量概算平均値
		測定者	平均値	測定者	平均値			
幼児	392	260	0.23	251	0.18	302	77.0	0.82
小学生	130	76	0.25	65	0.16	99	76.2	0.81
中学生	98	53	0.28	26	0.16	59	60.2	0.99
高校生	477	251	0.28	160	0.21	279	58.5	1.05
妊婦	41	12	0.30	27	0.18	29	70.7	0.68
合計	1,138	652	0.25	529	0.19	768	67.5	0.91

- 年間被ばく量概算 (単位:人、%)

	幼児	小学生	中学生	高校生	妊婦	合計	比率
1mSv以下	222	73	36	158	20	509	66.3
1～2mSv以下	57	17	16	80	9	179	23.3
2～3mSv以下	11	6	4	35	0	56	7.3
3～4mSv以下	10	2	2	5	0	19	2.5
4～5mSv以下	2	1	1	0	0	4	0.5
5mSv以上	0	0	0	1	0	1	0.1
合計	302	99	59	279	29	768	100

▷測定結果から(弘前大学被ばく医療総合研究所)

一般に3カ月の積算線量で、0.25mSvを超えると年間1mSvを超える可能性が高いため、注意する必要があります。

線量の高い場所を把握し、なるべく距離を置く等の工夫が必要です。

ただし、1mSvを超えたからといって健康を害することはほとんどありません。

問 健康保険課 TEL 0243-62-0123

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を図る測定器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■8月の分析結果

区分	検体数	検出された検体数(10Bq以上)	
野菜	65	4	ヨモギ、かぼちゃ、みょうが
果実	12	9	ブルーベリー
水(井戸水)	14	0	
魚	1	1	アユ
その他	16	2	桑の実、スグリ

※一部計画的避難区域のものも含む。

※警戒区域のものは除く。

食品の放射能簡易分析は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

申・問 上竹倉庫事務所 TEL 0243-23-4774

警戒区域内品の汚染状況検査結果(8月末現在)

警戒区域内の放射能汚染状況の検査結果をお知らせします。

区分	検査日	採取地域	結果内容
果実	7月	権現堂	梅約100ベクレル/キ口 ぶどう約50ベクレル/キ口 検出
井戸水	7月～ 8月	権現堂 川添 谷津田	月に一度検査しているが いずれも不検出
河川流水	7月～ 8月	やな場 付近	月に一度検査しているが 通常時(透明水)は不検出 降雨増水(濁り水)は検出
沢水	7月～ 8月	井手 丸小	不検出
味噌	8月	小丸 大堀	小丸16ベクレル/キ口 大堀不検出

問 災害対策課放射線対策係 TEL 0243-62-0123

問合せ
申込み
電話
ファックス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル



+ 仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 TEL 0243-24-1431

■診療時間 午前：8時30分～12時
午後：13時30分～16時

10月1日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
2日(火)	関根・佐藤・手塚
3日(水)	関根・西・手塚
4日(木)	佐藤・手塚
5日(金)	玉井・手塚
9日(火)	関根・佐藤・手塚
10日(水)	関根・西・手塚
11日(木)	関根・今村・手塚
12日(金)	関根・玉井・手塚
15日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
16日(火)	関根・佐藤・手塚
17日(水)	関根・西・手塚
18日(木)	関根・佐藤・手塚
19日(金)	関根・玉井・手塚
22日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
23日(火)	関根・佐藤・手塚
24日(水)	関根・西・手塚
25日(木)	関根・今村・手塚
26日(金)	関根・玉井・手塚
29日(月)	関根・佐川(午後)・手塚
30日(火)	関根・佐藤・手塚
31日(水)	関根・西・手塚

(都合により変更あり)

国民健康保険・後期高齢者医療保険からのお知らせ

■医療費一部負担金等免除証明書を発行しました
10月1日から国民健康保険および後期高齢者医療保険の被保険者の方も、一部負担金等免除証明書の提示が必要となりました。国民健康保険の方は世帯全員分を世帯主の避難先へ、後期高齢者医療保険の方は各個人の避難先へそれぞれお送りしていますので、病院等を受診される場合は、保険証と一緒に一部負担金等免除証明書を必ず提示してください。社会保険等にご加入の方は、お勤め先かご加入の保険者にお問い合わせください。

(入院時食事療養費の標準負担額や接骨院等を受診した際の療養費一部負担金相当額等の免除については、平成24年2月29日終了となっております。)

■18歳以下の医療費無料化がスタートしました
10月1日から福島県子どもの医療費助成事業の実施に伴い、18歳までの子どもの医療費が無料化されます。

今回、国民健康保険にご加入の方で、新たに対象となる15歳から18歳までの方に新しい保険証をお送りしましたので、10月1日以降は新しい保険証をご使用ください。

今までお使いの保険証は、役場にご返却いただくか、ご自身ではさみなどで裁断して処分ください。

■健康保険課国保年金係
0243-62-0179

一部負担金等免除証明書と保険証と一緒に提示してください。14歳以下の方は、これまでご使用の保険証を引続きご使用ください。

10月1日(月)から利用時間が変わります。
▽利用時間 10時～16時
※休館日は変更ありません。
問 浪江in福島ライブラリーキぼう(福島市笹倉)
090-9030-0164

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しています。放射性物質に関する情報、農産物・土壌モニタリング結果など、わかりやすくご説明しますので、お気軽にお越しください。

▽日時 10月12日(金)、26日(金) 10時～15時

▽場所 浪江町役場二本松事務所 双葉農業普及所
0246-2416044
0246-2411442

*ブログ「ふたばの農業通信」

ふくしま大卒等 合同就職面接会

新規大学等を卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正規社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を開催します。

事前申し込み不要です。お気軽にお越しください。いわき地区の企業40社が参加予定です。

▽日時 10月11日(木) 12時～12時50分

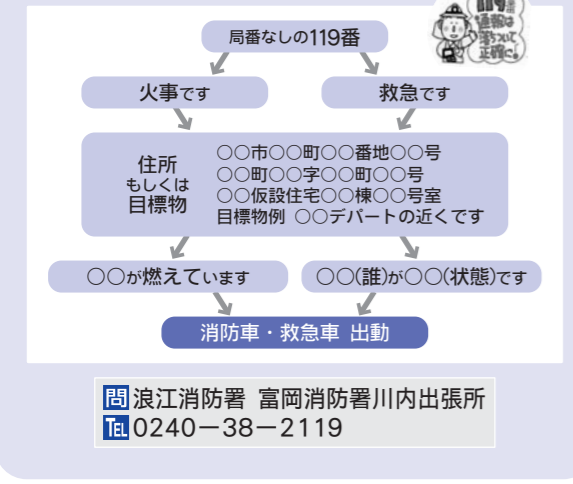
●就職支援セミナー

http://blog.goone.jp/futabafukyu

浪江消防署からのお知らせ

正確・確実な119番通報をしましょう

仮設住宅にお住いの方は、仮設住宅名・部屋の番号を通報のときに伝えてください。また、病院の問い合わせや各種問い合わせは、119番にかけるのではなく、最寄りの消防署にお問い合わせください。



問	月日	時間	会場
郡山会場	10月27日(土)	13時30分～16時30分	郡山市労働福祉会館
福島会場	10月28日(日)		コラッセふくしま
いわき会場	11月3日(土)	いわき産業創造館 LATOV	
会津会場	11月4日(日)	會津稽古堂	

問 浪江in福島ライブラリーキぼう(福島市笹倉)
090-9030-0164

就職支援イベント

■大学生等の保護者向け就職支援セミナー
参加対象 大学生、短大生、専門学校生などの保護者など

▽日時 10月26日(金) 13時30分～16時 (受付開始 13時)

▽場所 ウエディングエルティ スクエアルーム (福島市野田町1丁目10番41号)

▽参加事業所数 ハローワーク福島管内にある事業所 25社予定

▽参加対象者 ハローワーク福島管内にある事業所に就職を希望する方

▽主催者 福島労働局、福島公共職業安定所

▽定所 ハローワーク福島 福島キヤリアアップハローワーク 024-529-6626

ふくしま 就職応援センター

深刻な不況に加え、東日本大震災の影響により多くの方が離職され、就職活動をしています。

ふくしま就職応援センターは、求職者の就職を応援するために、福島県が県内5カ所に設置した無料の就労支援施設です。

就職活動に関する相談を専任の相談員が親身になって対応します。お気軽にお問い合わせください。

施設名	場所	電話番号
郡山窓口	郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル8階	024 925-0811
白河窓口	白河市郭内1 NTT白河ビル1階	0248 27-0041
会津若松窓口	会津若松市南千石町6-5 会津若松商工会議所会館2階	0242 27-8258
南相馬窓口	南相馬市原町区南町1-1 松本ビル2階	0244 23-1239
いわき窓口	いわき市平字梅本15 県いわき合同庁舎西分庁舎1階	0246 25-7131

▽開所日 月曜日～土曜日 10時～19時 休日、祝日、年末年始は休み

幼稚園就園奨励費補助金

平成24年4月1日から幼稚園に入園されている方で、市町村民税の所得割課税額が211,200円以下の世帯に対し、補助金を交付します。

現在、避難先の自治体で補助金の申請をしていない方のみ対象となります。該当する方は、ご連絡ください。

▷受付開始 11月
▷申請期限 平成25年1月末
▷支給時期 平成25年3月末

- 途中入園の場合は、月割の額となります。
- 保護者が実際に支払った入園料と授業料の合計額が限度額を下回る場合は、実際に支払った額を限度とします。
- 入園している幼稚園で、入園料と授業料の免除を受けている場合、補助金は調整して交付します。

問 浪江町教育委員会事務局
TEL 0243-62-0301

■兄・姉が幼稚園児の場合の限度額

区分	第1子	第2子	第3子以降	
公立	生活保護法の規程による保護を受けている世帯	20,000	50,000	79,000
公立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	20,000	50,000	79,000
私立	生活保護法の規程による保護を受けている世帯	226,200	266,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	196,200	251,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が77,100円以下の世帯	112,200	209,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が211,200円以下の世帯	49,800	178,000	305,000

■兄・姉が小学1～3年生の場合の限度額

区分	第2子	第3子以降	
公立	生活保護法の規程による保護を受けている世帯	35,000	79,000
公立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	35,000	79,000
私立	生活保護法の規程による保護を受けている世帯	247,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	224,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が77,100円以下の世帯	161,000	305,000
私立	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が211,200円以下の世帯	114,000	305,000

切れていませんか 自賠責の有効期限

交通事故による死者数は年々減少傾向にあるものの、平成23年の事故発生件数は約69万件、死傷者数は約85万人と国民の誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る極めて深刻な状況となっております。

交通事故は、車社会の負の部分であり、被害者にとっても加害者にとっても悲惨な結果をもたらすものです。

自賠責保険・共済は、すべての自動車の保有者に、自動車1台ごとに加入が義務づけられており、基本的にすべての加害者の賠償責任を担保することにも、すべての被害者の基本的な賠償を保障する制度であり、被害者の保護を目的としています。

一人ひとりがより一層自賠責制度の役割・重要性や、保険金・共済金の支払いの仕組みなどを十分に理解・認識することがとても大切です。

国土交通省東北運輸局福島運輸支局 輸送・監査部門
TEL 024-546-0343

高齢者 総合相談センター 巡回相談会

高齢者やそのご家族の日常生活の心配ごと、悩みごと、相続、

高速道路 無料化措置の延長

高速道路の無料化措置の期間が延長されました。

対象者

警戒区域等の区間に居住していた方、および特定避難勧奨地点の設定を受けた方

対象I

福島県内の全インターチェンジ、山元IC

期間

平成25年1月15日まで

TEL 0570-024-024

ハクキンカイロ 無料配布

新日本管財株式会社からハクキンカイロの寄贈がありました。ご希望の方は、期間中に生活支援課までお越しください。

ハクキンカイロとは

ステンレス製の本体にベンジンを注入し、繰り返し使用できるカイロです。通常の使い捨てカイロと同様に使用できます。500ml入りのベンジンで40回以上使用でき、冬場のお弁当の保温にも便利です。

在庫数

1,500個
(燃料3,000個)

食品と放射性物質に関する説明会

消費者庁では、関係省庁、地方自治体等と連携して、全国各地で、食品中の放射性物質についての説明会（リスクコミュニケーション）等を開催しています。開催時間、会場などの詳細については、お問い合わせください。

開催日	行事等名称	主催	場所	問い合わせ
10月14日(日)	放射能の基礎と放射能汚染について	二本松市消費者庁	福島県二本松市(安達保健センター)	二本松市健康増進課 TEL 0243-55-5110
10月14日(日)	放射能の基礎と放射能汚染について	二本松市消費者庁	福島県二本松市(二本松市福祉センター)	二本松市健康増進課 TEL 0243-55-5110
10月17日(水)	君津市消費者大学講座	君津市	千葉県君津市	君津市市民生活課 TEL 0439-56-1483
10月20日(土)	食品の安全を考える討論	杉並区消費者庁	東京都杉並区	杉並区生活衛生課 TEL 03-3391-1991
10月24日(水)	食品の安全・安心	八戸市消費者庁	青森県八戸市	八戸市商工政策課 TEL 0178-43-9524
10月25日(木)	食の安全安心講演会(仮)	泉佐野市	大阪府泉佐野市	泉佐野市商工労働観光課 TEL 072-463-1212
10月26日(金)	食べる安心を取り戻そう！内部被ばくの影響と軽減	習志野市習志野市消費生活研究会消費者庁	千葉県習志野市	習志野市協働まちづくり課 TEL 047-451-1151
10月30日(火)	放射能の基礎と放射能汚染について	二本松市消費者庁	福島県二本松市(岩代保健センター)	二本松市健康増進課 TEL 0243-55-5110
10月31日(水)	放射能の基礎と放射能汚染について	二本松市消費者庁	福島県二本松市(東和保健センター)	二本松市健康増進課 TEL 0243-55-5110

借金、離婚、境界問題、慰謝料などの法律相談に高齢者総合相談センター相談員や弁護士が懇切・丁寧に応じます。相談はすべて無料です。秘密は厳守します。

お気軽にご相談ください。お気遣いなくお問い合わせください。

▽一般相談(センター相談員) 10時30分～15時

▽法律相談(弁護士) 13時～15時 ※要予約

▽開催日程

市町村	開催日	開催場所
猪苗代町	10月10日(水)	猪苗代町農村環境改善センター(猪苗代町字城南100)
南相馬市	10月26日(金)	原町区福祉会館(南相馬市原町区小川町322-1)
磐梯町	11月20日(火)	磐梯町老人福祉センター(磐梯町大字磐梯字漆方1054)

甲・福島県高齢者総合相談センター
TEL 024-524-2225

ふくしまの赤ちゃん 電話健康相談

妊娠中の小さなお子さんに関する健康や育児の不安や悩みに助産師がお答えします。相談は無料で、相談の内容の

▽配布期間

10月31日まで(土日祝日除く)

▽受け渡し時間

9時～17時

※在庫がなくなり次第終了となります。燃料のベンジンは可燃物ですので、郵送等はできません。(ハクキンカイロ本体のみ発送可)

▽配布場所

役場二本松事務所生活支援課(二本松市北トロミ573番地)

TEL 0243-62-0305

秘密は必ず守ります。

▽対象者 県内の妊産婦・乳幼児の保護者に県外に避難している方、県内に里帰りしている方も利用できます。

▽内容 (1)妊産婦の健康相談、母乳相談、子育ての相談 (2)母乳の放射性物質濃度検査と保健指導

福島県 TEL 024-573-0211

▽相談電話

いわき TEL 0242-8303
会津 TEL 0242-8303
津波 TEL 0242-8303
いわき TEL 0242-8303
相談時間 月曜日～金曜日(祝日除く) 9時30分～16時30分
福島県児童家庭課 TEL 024-521-174

B-1 グランプリ in KITAKYUSHU

10月20日(土)・21日(日)
★会場 福岡県北九州市 小倉都心部
★浪江焼麺天国「なみえ焼そば」も出場します。皆さまの応援よろしくお願ひします。
公式URL http://b1-kitakyushu.jp

東京電力(株)本賠償に関する相談窓口

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う補償金の請求(本賠償)に関して、東京電力(株)による相談窓口が設置されています。(9月10日現在)相談に当たっては、東京電力(株)から郵送された「補償金請求のご案内」などの関係資料をご持参下さい。

※福島県外に避難されている方は、東京電力(株)福島原子力補償相談室にお問い合わせください。

TEL 0120-926-404

	場所	時間	休日
二本松市	二本松市若宮 2-150-3	9時～17時	日曜日・祝日
	二本松市若宮 2-154-1	9時～17時	日曜日・祝日
会津若松市	会津アピオ(会津若松市インター西52)	9時～17時	日曜日・祝日
いわき市	明治安田生命いわきビル 1F(いわき市平字大町7-2)	9時～17時	なし
	いわき第一日本興亜ビル 2F(いわき市平字十五町目18-6)	9時～17時	土曜日・日曜日・祝日
	いわき市小名浜定西299	9時～16時	土曜日、日曜日、祝日
川俣町	川俣町大字鶴沢字馬場 8-1	9時～17時	日曜日・祝日
南相馬市(原町区)	ジャスマール(南相馬市原町区大木戸字金場77)	10時～16時	日曜日・祝日
南相馬市(鹿島区)	万葉ふれあいセンター(南相馬市鹿島区寺内字迎田22)	10時～16時	日曜日・祝日
郡山市	ビッグアイウエスト 1F(郡山市駅前2-11-1)	9時～17時	日曜日・祝日
	郡山市七ツ池町 26-20	9時～17時	日曜日・祝日
広野町	広野町役場(本庁舎)(広野町大字下北迫字苗代替35)	9時～16時	なし
福島市	福島市森合町 14-11	9時～17時	日曜日・祝日
	コラッセふくしま内 ※商工業関係のみ(福島市三河南町1-20)	9時～16時	土曜日・日曜日・祝日
田村市	田村市船引町船引字館柄 65	9時～17時	日曜日・祝日
白河市	白河市高山西 162-21	9時～17時	日曜日・祝日

福島県による原子力損害賠償に係る巡回法律相談

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施しています。相談料は無料ですので、請求手続きについて不明な点などお気軽にご相談ください。

▷相談方法 事前予約が必要です。

原子力損害の賠償等に関する
問い合わせ窓口
TEL 024-523-1501
(8時30分～20時 ※平日のみ)

▷相談時間 30分
(13時30分から15時50分の間に実施)

TEL 024-521-8045

	実施日	場所
福島市会場	10月24日(水)	福島県青少年会館 第6研修室(福島市黒岩字田部屋53-5)
二本松市会場	10月17日(水)	福島県二本松合同庁舎 2階会議室(二本松市金色424-1)
伊達市会場	10月10日(水)	福島県伊達合同庁舎 1階会議室(伊達市保原町大泉字大地内124)
郡山市会場	10月17日(水)、31日(水)	福島県郡山合同庁舎 第4会議室(郡山市麗山1-1-1)
白河市会場	10月11日(木)、18日(木)	白河商工会議所 会議室(白河市道場小路96-5)
会津若松市会場	10月18日(木)、31日(水) ※10/31は3階地域連携室	福島県会津若松合同庁舎 本館1階会議室(会津若松市追手町7-5)
南会津町会場	10月17日(水)	福島県南会津合同庁舎 2階会議室(南会津町田島字根小屋甲4277-1)
相馬市会場	10月11日(木)	相馬市玉野公民館 会議室(相馬市玉野町56-1)
南相馬市会場	10月18日(木)	福島県南相馬合同庁舎 402会議室(南相馬市原町区錦町1-30)
いわき市会場	10月15日(月)、22日(月)	福島県いわき合同庁舎南分庁舎 3階中会議室(いわき市平字梅本15)

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 TEL0243-62-4731

お誕生

出生届は14日以内に

こどもの名(性別) 親の名 住所
7月

村上朝陽男 一直・香奈 川 添

8月

森心之輔男 寿一・希 幾世橋
井上史織女 泰史・美奈子 幾世橋
安田幸之助男 直樹・宏子 川 添
高木翔空男 勇・友理 北幾世橋
藤田大輝男 大治・知美 高 瀬
廣嶋綺夏女 侑・百恵 幾世橋
吉野滉平男 洋平・喜美恵 末 森
佐川楓翔男 慎二・麻美 田 尻
草野珠穂女 光洋・麻美 川 添
小澤柊斗男 大輔・加奈子 酒 田
高倉優菜女 勇貴・結貴 川 添
佐藤輝空男 研一・亮子 権 現 堂

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名 年齢 住所

8月

渡部ハツ 92歳 井 手
瀬川忠雄 65歳 権 現 堂
原下敏男 61歳 北幾世橋
三原タマヨ 92歳 両 竹
四條トメノ 85歳 苅 宿
遠藤一三 87歳 大 堀
末永末治 85歳 南 津 島
豊島フク 99歳 加 倉
佐藤昭 72歳 加 倉
村田貴幸 38歳 川 添
中野満 86歳 棚 塩
細田和久 50歳 棚 塩
山田テル 89歳 井 手
佐藤豊子 93歳 津 島

浪江町への義援金

9月11日現在、1,035件3億6,398万1,337円の義援金が寄せられています。このうち、3億5,264万3千円が町民の皆さまへ配分されています。皆さまの温かいご支援、ありがとうございます。

全国交流支援の絆 県外避難者交流会

遠くへ避難された浪江町民の交流会を開催します。みんなで集い、楽しく語り合いましょう。「現在の浪江町」「協働のまちづくり(NPO新町なみえによる)」のDVDの映像を紹介する予定です。お気軽にご参加ください。

※参加を希望される方は、それぞれの開催日の1週間前までにTEL080-2800-0653へご連絡ください。(軽食の準備をします。)

主催：特定非営利活動法人まちづくりNPO新町なみえ

開催日時	開催地	会場	内容
10月20日(土) 15時～17時	九州エリア (福岡県福岡市)	ホテルサンルート博多 (福岡市博多区博多駅中央街4-10)	交流会 参加無料 浪江町長 出席予定
10月27日(土) 15時～17時	北海道エリア (札幌市)	札幌東急イン (札幌市中央区南4条西5-1)	交流会 参加無料
11月4日(日) 15時～17時	中国エリア (岡山県倉敷市)	倉敷ステーションホテル (倉敷市阿知2丁目8番1号)	交流会 参加無料
11月10日(土) 15時～17時	中部エリア (愛知県名古屋市)	名古屋栄東急イン (名古屋市中区栄3丁目1番8号)	交流会 参加無料
11月10日(土) 15時～17時	関西エリア (兵庫県神戸市)	ホテルクラウンパレス神戸 (神戸市中央区東川崎町1-3-5)	交流会 参加無料

屋内遊び場

	施設名	所在地	運営主体・問い合わせ
県北	あづま総合体育館 軽運動室	福島市	(財)福島県都市公園・緑化協会 TEL024-593-1111
	インドアパークみなくる	福島市	NPO法人福島ライフエイド TEL024-521-2342
	キッズルーム	福島市	福島オークラブウル TEL024-546-0263
	さゆり子育て支援センター 「みんなで遊ぼう」	福島市	(福)吾妻福祉会 TEL024-534-5515
	とうぼう わんぱくらんど	福島市	㈱東邦銀行 TEL024-523-3131
	ちびっこ広場	伊達市	伊達市 TEL024-577-3128
	スマイルキッズパーク	本宮市	本宮市 TEL0243-63-2780
	森のキッズプレイス	大玉村	(財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 TEL0243-48-2040
	県中	ベップキッズこおりやま	郡山市
やっこいキッズ		郡山市	トーモク㈱ TEL024-947-3457
県南	すかがわキッズパーク	須賀川市	須賀川市 TEL0248-88-8114
	わいわい広場	白河市	白河市 TEL0248-22-1111 (内線2731)
会津	遊び場コーナー	会津若松市	大江戸温泉物語あいづ TEL0242-22-0600
	カメリーナ幼児室 キッズコーナー	猪苗代町	㈱まちづくり猪苗代 TEL0242-72-1534
いわき	わんぱくひろば みゆうみゆう	いわき市 小名浜	㈱いわき市観光物産センター TEL0246-92-3701
	とことん広場	いわき市 平	NPO法人いわきNPOセンター TEL0246-35-5411

第2回 東日本大震災復興支援イベント 渋谷フェスティバル 2012

被災地の伝統芸能、民俗芸能の継承団体が、渋谷区民まつり「渋谷フェスティバル」において芸能公演を行います。福島県から浪江町相馬流れ山踊り保存会が相馬流れ山踊りを披露します。被災3県から各1団体ずつ披露する予定です。

■伝統芸能公演

(9月18日現在の予定)

●11月3日(土)

代々木公園野外ステージ

▽予定時間

12時～13時

15時30分～16時

(各団体約20分)

●11月4日(日)

代々木公園野外ステージ

▽予定時間

13時30分～14時30分

(各団体約15分)

代々木公園野外ステージ

▽予定時間

13時15分～14時30分

(各団体約15分)

浪江町教育委員会事務局

TEL0243-62-4731

不正軽油 撲滅強化月間

軽油には、県税である軽油引取税(32・1円/ℓ)が課せられますが、脱税する目的で、軽油に灯油や重油を混ぜるなどして製造される燃料、いわゆる「不正軽油」が正常な軽油と偽って販売、使用されています。この不正軽油は、悪質な脱税行為であり、環境汚染やエンジン故障の原因、公正な市場競争の阻害、さらには暴力団等の資金源にもつながります。

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」とし、関係団体と協力して不正軽油の排除に取り組んでいます。県民の皆さんからの情報提供も欠かせません。

不正軽油の製造や販売、使用に関する情報がありましたら、相対振興局県税課までご連絡ください。

TEL0244-26-1127
FAX0244-26-1128
E:sousokenzei@pref.fuku-shima.lg.jp

避難者内交流会 in 茨城

茨城県内への避難者・支援者ネットワーク「ふうあいねっと」では、福島県・東北から茨城県に避難されている方の交流会等を開催しています。

日時	行事等名称	場所	内容	開催者
10月13日(土) 13時～16時	しゃべり場&お茶会	鹿嶋市まちづくり市民センター 202号室 (茨城県鹿嶋市宮中4631-1)	つながるお茶会、法律相談、キッズスペース、情報コーナー	ふうあいねっと
10月14日(日) 10時30分～14時	ママ・パパカフェ in 水戸	茨城大学水戸キャンパス (茨城県水戸市文京2丁目1-1)	「Gボール」で親子でエクササイズ、交流会&相談会、託児、キッズプログラム、お弁当	福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト茨城拠点
10月20日(土) 13時～16時30分	卵の殻でエコキャン ドルを作ろう	土浦一中地区公民館 (茨城県土浦市大手町13)	卵の殻を使って簡単エコキャン ドルを作りました	わくわくプロジェクト土浦
10月21日(日) 11時～14時	りゅうのしっぽ 福島ふるさと交流会 (先着50名)	中国四川料理 甲子亭 (茨城県牛久市田宮町49)	おいしいお料理を食べながら楽しくお話	りゅうのしっぽ 参加費:300円 (料理代込み・中学生以下無料。保育・託児無料)
10月21日(日) 13時～16時	日立交流会	日立市福祉プラザ (茨城県日立市会瀬町4-9-13)	つながる交流会、弁護士相談、託児、等	ふうあいねっと、日立市 ボランティア有志
10月21日(日) 10時～	そば打ち体験	水戸市稲荷第二市民センター (茨城県水戸市栗崎町1695-4)	自分たちで作ったそば粉からそば打ちを体験します。	茨城県健康生きがいつくりアドバイザー協議会
10月28日(日) 13時30分～15時30分	歌とトークと歌声カフェ	筑西市役所 しもだて地域交流センター 1階 集会室 (茨城県筑西市丙372)	ミニライブ、おしゃべり会など	たまり場・たろう
11月3日(祝) 10時～12時	北茨城交流会	未定		NPO法人ウィラブ北茨城
11月7日(水) 10時～12時	パステルアートで癒しの時間	ふうあいステーション (茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階)	インストラクターの指導で、セラピー効果もあるパステルアートを体験します。	ふうあいねっと

申・問 茨城県内への避難者・支援者ネットワークふうあいねっと事務局
TEL029-353-8560 FAX029-353-8561 E:fuai.sta@gmail.com



パークゴルフで元気になろう

9月16日、日山パークゴルフ場（二本松市）で浪江町長杯パークゴルフ大会が開催され、パークゴルフ愛好家ら98名が集まり、優勝めざし競い合いました。結果は次のとおりです。（敬称略）

☆男性の部☆

優勝 中川 昭（請戸）
2位 渡部 武政（権現堂）
3位 長岡 惣一（刈宿）

☆女性の部☆

優勝 竹村 益子（両竹）
2位 田河テル子（権現堂）
3位 佐々木理子（藤橋）



交流を深めました

9月12日、石神第一仮設住宅（本宮市）で相模女子大学の皆さんとの交流会が開催されました。

同大学では、本宮市の事業で農業交流などを行っており、今回は避難者への支援として交流会が開かれました。



皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。
TEL 0243-62-0123

みんなの憩いの場に

8月24日、25日の2日間、塩沢農村広場仮設住宅自治会（熊川 勝会長）では、二本松市の了解を得て、広場内にあったベンチのペンキを塗り替えるなどして整備しました。ベンチは仮設住宅内に設置され、住民のみなさんの憩いの場として利用されています。

ありがとうございました



東京都足立区江北6丁目団地自治会様から義援金が届けられました。



埼玉県毛呂山町（井上健次町長）と毛呂山町体育協会（平野新一会長）から浪江町と浪江町体育協会に義援金が届けられました。浪江町では、震災以降毛呂山町では、震災以降浪江町を支援しており、今回はチャリティイベントや募金箱の設置などで集まった募金を届けていただきました。



学校だより vol.1

「新生浪江小学校」は、こんな学校です。

昨年2学期から二本松市の旧下川崎小学校の跡地を利用して教育活動を進め、約1年が過ぎました。

全校児童30名（浪江小18名、苜野小7名、大堀小3名、請戸小1名、幾世橋小1名）は、震災前、町内の学校で過ごしていた子どもたちでしたが、現在はみんな仲良く学習・運動に励んでいます。

さて、今年の浪江小学校のスローガンは「浪江でまなび、浪江でおしえ、浪江をかんがえる」です。総合的な学習の時間には「ふるさとなみえ科」を立ち上げ、浪江町の良さや特色等を各学年で調べています。全学年で「大堀相馬焼」について調べ、体験したり、6年生が浪江町の復興について自分の



●安達太良山登山(5月31日) ●全校生30名と先生方全員集合です。



●ひまわりの前(7月20日) ●5月に種をまいたひまわりが夏休み前に咲きました。



考えを深めたりする学習も進めています。また、二本松市にある仮設住宅を訪問し、子どもたちが育てた花をプレゼントしたり、お年寄りと一緒に楽しい時間を過ごしたりして交流を深めています。

さらに体験活動も数多く実施し、1学期には安達太良山に全校生で登りました。その他、電子黒板での授業をそれぞれの学年で展開し、個別指導を中心に学力の向上を目指しています。

「浪江小学校に通いたいな。」と思われるような学校を目指し、子どもたちと教職員が一丸となって頑張っています。ぜひ「新生浪江小学校」を応援してください。そして機会がありましたらお立ち寄りください。



●第2学期始業式(8月27日) ●真剣な目で校長先生の話聞く全校生



●仮設訪問(7月3日) ●3~6年生が全員で塩沢仮設住宅を訪問しました。

浪江小学校 TEL 024-567-3970



横山 君子さん(立野)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山・阿部
取材日：8月27日

浪江の家と愛犬の住む原町の近くに、早く行きたい

3月11日の大震災では家が壊れ、13日には原発事故からの避難のため、二本松市東和へ。1カ月後、2次避難のため猪苗代へ移動。昨年9月、本宮市高木の仮設住宅の完成と同時に、90歳になる義母と夫、君子さんの3人で入居。まもなく1年を迎えます。



▲ご自慢の作品とともに。



▲小さな作品だったら1日程度。手の込んだものでも1週間くらいで作れるそうです。

■立野には防災無線は聞こえず、何も解らないままの避難
私は幾世橋の会社で地震に遭い、帰宅する道には段差がで、通るのもままならない。夕方に家に着いたときは瓦が落ち、中もめちゃくちゃでした。幸い、外出していた義母、夫も息子も無事でした。翌朝、消防団に入っていた息

子から避難指示の事を聞かれ、家族4人で津島の親戚の家へ向かいました。朝早く移動したので巻き込まれずに済みましたが、車が渋滞しひどいことになっていました。津島には請戸や双葉町から避難した親戚もおり、そのときに初めて津波や昨夜の原発事故の事を知りました。
避難して来る親戚が多かったため、私たちはその日のうちに一端自宅に戻り、13日には原町の姉を頼りました。その5日の間ガソリンが無くて困っていましたが、南相馬市から20リットルの配給を受け、二本松市東和の支所を目指しました。体育館は満杯でしたが、公民館の2階が空いており、本当に助かりました。最初は5、6人だった避難者が、あつという間に80人くらいになりました。
4月上旬に2次避難をする際、息子は仕事で茨城へ、私たちは3人で猪苗代のリゾートホテルへと移りました。それから5カ月後、この仮設に引っ越ししました。

■夢中になれるエコクラフトバッグづくりに出会って
猪苗代のホテルが開いた手芸教室に通っていた友だちに習ったことがきっかけです。長い間会社勤めをしていたので、手芸をやる暇もなかったのですが、そのお友だちが福島市からこの団地のおばあちゃんたちにエコクラフトを教えに来てくれており、私も一緒に習っていました。
そんなときに、仕上げに塗ったニスで家の表で乾かしていたら、同じ団地の方に声をかけられて、今年5月には講師になっていただいた。エコクラフトの会「友愛クラブ」を立ち上げました。現在、団地内や借り上げ住宅から通う約20名がメンバーとなり、集会所に週3回程度集まって製作に励んでいます。広報なみえ7月号の表紙にも取り上げていただきました。
この団地には同じ立野からは2軒程で、いろいろな地域から来られています。引きこもりがちの方にも声をかけて、楽しんでいきたいですね。何かを作っているときには嫌なことも考えずに済みますから。
これから叶うことならば、90歳になる義母が元気なうちに家の近くに住んで、今は原町の姉の家に預けている犬にも会いた

浪江のこころ通信

・第16号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※東北圏地域づくりコンソーシアム推進協議会は、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

「浪江のこころ通信/第16号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4261





小川 靖夫さん(権現堂)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 佐藤
取材日：9月3日

妻が私に内緒で、ここ数年の私の作品(打刃物)を毎年大事に取っていてくれたので、こうして持ち出すことができました

浪江町で唯一の打刃物鍛冶職人だった小川靖夫さん(銘は重久、小川鍛造工場)。原発事故後転々とした後、昨年4月から、棟違いに長男家族、次男家族が住む、福島市内の借り上げ住宅に落ち着きました。

■今なつかしく思うのは、十日市や自然の恵み豊かな浪江のこと
浪江町は、ほんとうにいいところです。雪も降らないし、自然いっぱい、春は山菜採り、秋はきのこ採り、それに泉田川、高瀬川のサケ漁…。思い出すと



▲作品の一部。箱には妻と志子さん心くばりのメモも入っていました。奥に見えるのは珍しい牛の爪切り(左用・右用)



▲妻 与志子さんと孫の沙里さんの愛犬ブー

■今でもお客さまが覚えていてくれて
マグロ解体用の大きい特殊出刃包丁(刃渡り33cm)を、市場などからの注文で作っていました。福島市内に落ち着いてから、いわきの魚市場の方から「小川さんの、あの包丁でないと」と頼まれ、一時帰宅のときに作って置いたものを持ち帰り、このペランダで丹念に仕上げ、納品しました。そのとき、妻が私に内緒でこれまでの作品を、丁寧に

辛いですが、賠償なんて何もいらなから、あの浪江町に戻してほしい。子どもたちに「ふるさと」を残してやれないのが、悔しいです。
私の仕事は、打刃物鍛冶です。一日一丁か二丁しかできない、時間のかかる仕事です。今ごろはいつも、十日市のために8月までに粗作品を作りあげ、十日市までにそれらをじっくり丁寧に仕上げ、そんなふうでした。永年のごひいきさんが、作品を一堂にお見せできる十日市を待って、浪江町内外から足を運んでくれました。

■家族と健康で
この部屋から、息子たちの住んでる部屋が見えるんです。息子たちの嫁同士が仲がいいのが、私の自慢です。孫が朝学校に登校するとき、声をかけます。孫の沙里から学校でのごきごきを聞いたり、孫の斗夢の高校の卓球部での活躍ぶりを見聞きできるのが、楽しみです。この子らの先々は…、もう一度作品を作ってみたい…、そんなことを考えるとたまらなくなりますが、でも立ち止まってはいただけません。前を向いて、家族円満に、健康に、心の楽しみを増やすことで、希望へつなげていきたいと思っています。



佐々木 勝さん(藤橋)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 佐藤
取材日：9月4日

浪江で交流していた仲間が近くに居て、心強いです

今は、奥さんと娘さんと福島市内の借り上げ住宅に住んでいます。



▲「にっこりはできんなあ」と佐々木さん。

■あのときは情報を求めて必死だったな
3月11日地震のときは、勤務先で遅い昼食をとろうとしていたときでした。直後は、近所の崩壊した家の屋根瓦の片付けを手伝い、電気も水もなく、その晩は情報が欲しくて、カーナビのテレビだけは見られたので、寝具を持ち込み車の中で過ごしました。翌日、隣の人から防災無線で避難を呼びかけていると聞き、一時的な避難だと思って、寝具を載せたままの車で、家族と犬一匹長靴を履いただけの着の身着のまま、津島を目指しました。

■こうしていると気が滅入ることもあるんだ
「心が滅入る」と言うのかな、こうしているといいたまれない気持ちになります。これからは思うと、若者は戻ってくるのか？将来の影響は？きちんとした、的確な情報がほしいと思います。がれき受け入れに関するニュースを見てみると、「現実的ではない」夢より希望がほしい」と切実に思います。中間貯蔵施設建設も、手も足も出ない

12日の晩に「屋内退避」という聞き慣れない言葉を聞かされ、今何が起きているのだろうか？ともう不安な思いでいっぱいになりました。
ガソリンを求めて残量を気にしながら走り、やっと入れられても1台2千円分とか10Lとか制限付き、それでも手を差し伸べてくれる情報を頼って西へ転々と、新潟県佐渡市には1カ月滞在しました。同じ海でも、太平洋と日本海、いやあ寒かったなあ。佐渡の外海は、シベリアからの風がそのまま吹き付けるから、と後で知りました。

状況で大海に投げ出されるようなもの」。国や行政には、私たちが自分の方向性を定められるようなフォローを、しっかりやってほしいです。まずは補償をきちんとしてほしいです。
■浪江での仲間とやっと慣れた福島でガラス片手に語り合う、それが何よりの楽しみ
このままじゃ、人間もダメになっちゃう。滅入りながらも、このままではいられない、と思います。浪江で交流のあった友人・知人で、福島市内に住んでいる者と連絡を取り合い、ガラス片手に語り合う、その時間が励みになっています。福島市にもやっと慣れてきました。
国や町の動きをニュースで見ながら、ため息をつきつつも、家族と友人・知人と支え合って一歩でも半歩でも前へ、前へと思っています。



山田 愛梨さん(中1)(田尻)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋
取材日：8月31日

全日本ジュニア綱引選手権大会で銅メダルを取りました

千葉県習志野市公務員宿舎で、お父さん、お母さん、弟の悠愛くんと暮らす山田愛梨さん。今年の春、中学に進学しました。



▲左から愛梨さん、おばあちゃんの芳子さん、弟の悠愛くん

私の家は田尻にあります。弟と2人、大堀小学校に通学していました。3月11日、地震が起きたときは、掃除の後、着替えて帰る間際でした。ランドセルも何も持たず、上履きのまま校庭に逃げました。お父さんが車で迎えに来てくれて、おじいちゃんの家で、家族みんなが一緒になったときには、ほっとしました。その日の夜は、水道も電気

も使えない中、ろうそくを灯し、石油ストーブでお餅を焼いて食べました。次の日、近くの避難所に避難しましたが、原子力発電所の爆発音が聞こえ、もっと遠くに逃げないと危険だということで、家族7人で、原町の保健センターに移動しました。その後、埼玉や千葉の親戚のお家にて、昨年の6月に今の公務員宿舎に引っ越してきました。おじいちゃん、おばあちゃん、ひいおばあちゃんたちと隣り合わせの部屋で暮らしています。

震災の前は、おじいちゃんが経営する水道屋さんで家族みんなが働いていました。千葉に避難して来ているので、水道屋さんには休業状態です。私は、小学校2年生のときから、ヤングブラザーズスポーツ少年団に入って、綱引きをやっていました。震災後も月に数回、東京や猪苗代で練習をし、今年の全国大会では銅メダルを取る事ができました。綱引きの練習のたびに、お友だちと会うことができ、とても楽しかったのです

が、全国大会を最後に、スポーツ少年団は休団になりました。埼玉県や千葉県、福島市、いわき市、二本松市と、みんなばらばらの場所に住んでいるので、新しい団員の募集が難しいこと、今の団員も集まるのが、大変だからです。中学校に入学してから、ソフトテニス部に入りました。夏休み中もほとんど毎日、部活動があり、忙しいけれど楽しいです。千葉でも、友だちがたくさんできました。お店や駅が近くにありません。でもやっぱり、浪江の大堀小学校の友だちと、みんなと一緒に卒業して、同じ中学校に行きたかったです。将来、田尻にある家に帰ることができたらいいと思います。



鈴木 恵美さん(棚塩)

取材者：地域社会デザイン・ラボ 中島
取材日：9月11日

懐かしい人との再会を心待ちにしつつ、ただいま子育てに奮闘中

「子育てで毎日バタバタしていて、ほとんど落ち込む暇もありません」という鈴木恵美さん。現在、仙台市の借り上げアパートでご主人と3人のお子さん、お義父さん、お義母さんとともに暮らしています。震災時には近くの高台に避難し、ご家族全員が無事でした。しかし広大な自宅は津波で流出。近い将来、浪江に似た景観の岩沼市に「仮の本家」を建てる計画を進めています。

■浪江でのびのび子育て
私は相馬市の生まれで、浪江町の嫁ぎ先で暮らしたのは4年間です。その間に長男(5歳)、次男(4歳)、長女(2歳)と3人の子どもに恵まれました。浪江にいたころは夫の曾祖母、祖父も健在で、10人の大家族。家の敷地も広く、畑もあるし、海岸へも子どもと一緒に歩いて行けるといって、本当にのびのび子育てができる環境でした。長男は請戸の児童館に通っていました。ここは私にとっても、親しいお母さん友だちができた思い出深い場所です。大地震が起こったあの日も、いつもどおり児童館にお迎えに行き、家に着いて2、3分というときに大揺れがきました。次男と長女はお昼寝中、義父もまたま休日家でいて、家族がそろっていたのは幸運だったのかもしれない。しばらく家の中で待機していましたが、外に出た義父が慌てて戻って来て、「津波が来る。逃げよう!」と。あれほどの大津波が来るとは思わないまま高台に避難し、家族全員が助かりました。

■友人や親戚との再会を
1年前から仙台の借り上げアパートに住み、今は8人でにぎやかに暮らしています。長男と次男は名取市の幼稚園に通っていて、友だちも増えました。長男は人見知りでしたが、仙台に来てからは、園に行きたくないとか駄々をこねることも一度もありません。たくましくなりましたね。兄弟で「津波ごっこ」をするのが気になります。今はそつと見守っています。私のほうは、2歳の長女はまだ手がかかるし、園の行事があるときはお手伝いに行ったりと、毎日バタバタ。落ち込んでいる暇もなく、それなりに元気に過ごしていますよ。ただ残念なのは、請戸の児童館で一緒だったお友達たちの成長が見られなかったことです。お母さんたちとお会いできないのも寂しいですね。一度だけ福島で集まりましたが、ああいう機会を定期的に持てたらと思います。今後の家のことについても家族で話し合っています。借り上げアパート



▲鈴木恵美さん。9月6日に2歳のお誕生日を迎えた長女の杏奈ちゃん、お義父さん、お義母さんとともに。

では周りの方の迷惑にならないよう、叱らなくてもいいようなことで子どもを叱ってしまうことが多いです。うちは本家なので、親戚が帰省できる場所も必要だろうと。それで今、岩沼市に家を建てる準備を進めているところなんです。なぜ岩沼市かというと、福島県に近くて景色も浪江に似ているから。義父は「浪江に帰るまでの仮の本家、別宅だ。」と言っています。私としてはとりあえず落ち着ける場所ができ、懐かしい人たちに会えたら嬉しいです。



大阪府

紺野 昌則さん・葉子さん(権現堂)

取材者：きょうとNPOセンター 田口
取材日：9月8日

現在進行形の原発事故。その危険性から目をそらさず、行動し続けたい

紺野さんご夫婦は、昨年3月に大阪への避難を決意。当時、高1、中2、中1だった3人の子どもたちとともに大阪での生活を始められました。長年営まれてきた酒屋業、そして何より浪江町の仲間たちに想いを馳せながら、浪江町の置かれている状況に向き合ってきました。

■放射線という見えない脅威に立ち向かうことになった大切な故郷：浪江町。
いま、大阪にいる私たちが、浪江町のためにできることは何か。そのことについてずっと考え続けています。
浪江町が置かれている状況について「真実」を知りたいという思いから、こちらで開催されている勉強会に参加したり、講演会を聞いたり：さまざまな形で情報を得て来ました。
なぜなら、福島原発事故は過去の出来事ではなく「現在進行形」であり、「未来を生きる子どもたちの健康を最優先に考えたい」という強い願いからです。
これからのことを考えるときに、町民として放射線の危険性について目をそむけることなく、子どもたちや孫たちの世代に納得してもらえぬ「未来」に向けた決断をする責任があると思うのです。



▲後ろ：左から長男の喜弘さん、次男の純也さん、長女の萌子さん
前：左から昌則さん、葉子さん

■あの日から、どれだけの悔し涙を流してきたか…。
県外に避難してきた自分たちと県内の仲間たちとの「温度差」も感じています。
でも、あきらめるわけにはいきません。放射線の危険性について冷静な心で学びを深め、町

民目線での発信をこれからも続けていきたい。
そして個人的には、いつの日か「酒屋を再開ができた！」と言える日が来ることを夢見ながら、できることを一つひとつ積み重ねていこうと思っています。



東京都

新開 正文さん(井手)

取材者：NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 鍋嶋
取材日：9月8日

会えなくとも、浪江の仲間とつながっていたい

震災前は、3世代同居で暮らしていた新開さんご夫婦。今は、練馬区の都営住宅で、親子5人で暮らしています。



▲左から海月ちゃん、奥さんの垂由美さん、冬也くん、正文さん、大空人くん

私たち家族は井手に住んでいました。地震が起こったときは、私は勤務先のシルバー人材センターに、妻は次男の大空人を出産したばかりで、産休で自宅にいました。自宅周辺は津波の被害はありませんでしたが、余震がひどく、家の中にいるのは危険だと思い、その日の夜は、車の中で過ごしました。翌日早朝の避難命令を聞き、川俣の小学校に避難しました。その後、群

馬県館林市、埼玉県川越市を経て、私の父母と祖母の3人は福島県の借上げ住宅に、私たちは何とか、4月1日に、この都営住宅に入居することができ、長女・海月の入学式をさせてあげられたので、ほっとしました。
震災前は、3世代同居、8人で暮らしていました。家の周辺には、田畑が広がり小川が流れ、庭には池があり、子どもたちは恵まれた自然の中で、のびのびと暮らしていました。私も請戸の海で仲間たちとサーフィンを楽しんでいました。月1回のビーチクリーンやボランティアへの参加をしながら、仲間たちと自然や地域と関わってきたことを思い出します。
海月は、しばらくの間「お家に帰りたい」と泣くことが、多々ありました。長男の冬也は、自転車に乗るのを覚えたばかりで、残してきた自転車の心配をしていました。子どもにとっても、大きな環境の変化に対応するのは大変なことだと思います。震災のとき、生後5カ月で、ミルクやおむつの心配をした大空人は2歳になりました。知り合い

もいない慣れない土地での生活を、妻はよくやってくれていました。
私は、転居後、なんとか新しい職を得ることができました。また、早く地域に馴染みたいと思いい、小学校のPTAのソフトボール部で活動し、少しずつですが、交友の輪を広げることができています。しかし、隣近所の付き合いがほとんどない暮らしで、以前のように、子どもたちだけで自由に遊ばせることは難しい状況です。浪江のように、自然豊かな場所でのびのびと遊ばせることができたと思いません。
震災前までいつも近くにいた仲間との交流が、かけがえのない素晴らしい時間だったとあらためて思い出します。またいつの日か浪江の請戸の海をみんなで見たいと夢見ています。幼い子どもたちのことを考えると帰るのは難しいのかもしれませんが：仲間とは、なかなか会うことはできなくても、連絡を取り合い、心はつながっていることができればと思います。



美容室わたなべ 渡部 邦子さん(西台)

取材者：浪江町役場 長沼・嶋原
取材日：9月4日

笑ったり励ましあったりできる お店にしていきたい

浪江では、アットホームな美容室を経営していた渡部さん。震災後、あきらめかけたこともありましたが、たくさんの方との出会いや手助けがあり8月に“美容室わたなべ”を南相馬市原町区にオープンしました。

「人とつながれる場所を作っていきたい」と明るい声と笑顔で話す渡部さんの美容室は、顔なじみの方が集まる憩いの場になっています。

震災後、津島に家族5人で避難しました。4匹の犬が一緒だったので避難所の中には入らず外で過ごしました。皆さんも同じですが、ひと家族で1個のおにぎりを分け合うこともありまして。このころは、もうだめだ、生きていけないと、思ったこともありましたが、植葉に住んでいた姉が避難先から通行止め何度も合いながら迎えに来てくれて、4日目に白河に行きました。その後、伯母のいる横浜へ避難して3週間お世話になり、喜多方、福島を経て南相馬に落ち着き、8月11日に“美容室わたなべ”を開店しました。南相馬での再開を決めたのは、一時帰宅のときに少しでも顔を出してもらえればと思ったからです。1カ月かけて店舗を探し、近くの浪江の方にもたくさん助けしてもらいました。美容室では娘がエステを担当し、ハワイアンロミロミというリンパマッサージやゲルマニウム温浴もやって心身ともにリラックスできる癒しの場にもなつてほしいと願っています。

震災後、親戚が物心ともに支援をしてくれたり、行く先々で新しくできた友人が助けてくれる。人は誰かと話をし、人とつながれる場所が必要だと思います。



▲浪江からのなじみのお客さんが集まってくれました。「みんなで話せるから、再開してくれてうれしいよ。」と笑顔で話してくださいました。後列左から、本林チエ子さん(双葉町)、松本スエ子さん(西台)、渡部さん。前列左から、門馬みやこさん、常子さん(酒田)

福島にいるときに知り合った“花見山を守る会”の方たちには本当に助けられました。お茶を飲んで話をして元気をもらい、今の原町での生活につながっています。いろいろな所で知り合った方たちが、どこに行ってもみんな声を掛けてくれます。たくさんの方々との出会いがありこまめな声かけができています。

開店して、今までのお客さんと顔を合せて話ができることが一番良かったことです。商売繁盛も大事ですが、これからは、来てくれた方が元気になったり、励ましたり、励まされたりしながら、浪江の方はもちろんのこと、原町の方やいろいろな人とつながって情報発信していけるお店にしていきたいです。早くいわきまでの高速道路ができて、もっとたくさんの方に来ていただけるとうれいですね。



菅家 清進さん(幾世橋)

取材者：NPO法人あきたパートナーシップ 畠山
取材日：9月12日

震災前のように、一杯やりながら 仲間とまちの未来について語り合いたいなあ

町おこしの仲間たちの縁で声を掛けてもらい、秋田県由利本荘市に避難し、現在は市役所の観光振興課で臨時職員として働いています。

奥さんと小4の息子さん、小1の娘さんの4人とワンちゃん1匹で暮らしています。

ここ、由利本荘市は太平洋と日本海の違いはありますが、海と山ときれいな川が流れる浪江とよく似た風景の街です。秋田県の中では雪は少なく(それでも浪江の10倍)、冬以外は住みやすいです。夕日がメチャメチャきれいで「ジュツ」と音が聞こえるようです。犬と一緒に市営住宅には入れなかったのが、民間の2間のアパートに住んでいます。当初は母親も一緒でしたが、自宅のそばがいいと南相馬へ行きました。震災前は父親から引き継いだ自動車钣金工業を営んでいました。約40年間続けて来た会社なので、何とか続けて商売をした。今、浪江町に帰る状態ではなく、県外では手厚い支援が受けられないので事業再開の見通しが立たないです。これから仕事をどうしたらいいのか悩みは尽きません。昨年3月2日に家のリフォームが完成し家電製品の設置も済んで、子どもたちの春休みに引越を決めていて、家族みんな楽しみにしていたのですが残念です。

震災前はよく、商工会青年部の仲間と町の活性化について話し合っていました。立場的に、すぐに戻って町の復興に関わるべきでしょうが、子どもたちの健康を考えると今は戻りません。浪江町の確定した復興プランを待つしかないのでしょうか。1年半たつてあとどれくらい待つか。個人で判断するしかないのかと思ったりしています。県外に避難したので、ふるさとを捨てたと思われているかもしれないませんが、仲間と町の未来・復興に携わりたい気持ちに変わりはありません。仕事を終えて「壽」で一杯やるのが楽しみで、浪江の水と米で作られた「土耕ん醸」がうまかったなあ。叶うならば仲間たちと震災前のように過ごしたいです。会えないのはつらいですが、それでも、家族と一緒にいられるので何とか頑張っています。



▲元気なお子さんたち。菜々子ちゃん(左)と清正くん

連絡先一覧

- 浪江町役場二本松事務所
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261
- 浪江町役場二本松連絡所
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
TEL 0243-62-0302 FAX 0243-23-7970
- 福島出張所
〒960-8601
福島県福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753
- 本宮出張所
〒969-1203
福島県本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187
- 桑折出張所
〒969-1611
福島県伊達郡桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135
- いわき出張所
〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026
- 南相馬出張所
〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(旧東北農政局福島農政事務所南相馬統計・情報センター)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114
- 浪江町議会事務局
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231
- 浪江町教育委員会
〒964-0984
福島県二本松市北ト口ミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223
- 浪江町社会福祉協議会
〒964-0904
福島県二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970
- 仮設津島診療所
〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

町内モニタリングポスト測定結果

文部科学省で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 文部科学省放射線モニタリング情報

URL <http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/>

問 文部科学省
原子力災害対策支援本部
TEL 03-5253-4111

(単位: $\mu\text{Sv/h}$)

測定地点	9/1	9/15	測定地点	9/1	9/15	測定地点	9/1	9/15
津島小学校	5.3	5.1	津島活性化センター	1.3	1.3	小野田集会所	2.9	2.8
津島中学校	2.3	2.3	昼曽根屯所	14.7	14.5	酒井集会所	4.1	4.0
浪江高等学校津島校	10.8	10.7	新町ふれあい広場	0.6	0.6	室原公民館	5.5	5.3
浪江(中央公園付近)	0.9	0.9	川添葉山会館	4.3	4.2	立野中多目的集会所	5.0	4.8
幾世橋(幾世橋小学校付近)	0.3	0.3	樋渡牛渡集会所	4.1	4.0	苅宿公民館	3.6	3.5
浪江ひまわり荘	3.4	2.9	高瀬多目的集会所	0.9	0.8	加倉集会所	3.4	3.3
手七郎集会所	10.0	9.9	幾世橋集会所	0.3	0.2	藤橋消防屯所	0.9	0.9
大柿簡易郵便局	13.4	13.3	浪江町公民館幾世橋分館	0.2	0.2	羽附集会所	0.9	0.9
家老集会所	9.2	9.5	北棚塩総合集会所	0.2	0.2	大字津島集会所	2.7	2.6
赤宇木集会所	9.6	9.5	棚塩集会所	0.1	0.1	南下コミュニティーセンター	7.6	7.4
大堀小学校	4.7	4.6	大字請戸集会所	0.1	0.09	葛久保集会所	10.9	10.6
苅野小学校	5.2	5.1	中上ノ原町宮住宅	3.9	3.8	陶芸の杜おおぼり	14.4	14.2
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	8.3	8.1			
小丸多目的集会所	26.3	25.5	田尻集会所	2.2	2.1			



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0123(代) FAX 0243-22-4261
<http://www.town.namie.fukushima.jp>